



Official TEST and Rookie Driver Tryouts Report 2021/12/7～8 SUZUKA

DOCOMO TEAM DANDELION RACING 福住選手の優勝で幕を閉じた 2021 シーズン最終戦鈴鹿からおよそ 1 ヶ月。各チームは、シーズン最後の恒例イベントとなった公式テスト／ルーキードライバーテストで、2022 シーズンに向けた準備を着々と進めている。

DOCOMO TEAM DANDELION RACING は、今季 6 号車をドライブした牧野選手を 5 号車に、6 号車には 2021 年ルーキー・オブ・ザ・イヤーを獲得した大津 弘樹（おおつ ひろき）選手を迎えテストに臨んだ。

テスト 1 日目は、前日から降り続く雨によりフルウェット。気温も上がらず雨脚は強弱を繰り返すコンディション。多くのドライバーが走行を見合わせる中、両ドライバーは、積極的にウェットコンディションのテストメニューをスケジュール通り消化。

テスト 1 日目を牧野選手 8 位、大津選手 4 位で終えた。

テスト 2 日目には天候は回復。チームは 2 日目も多くのテストメニューを準備。決勝を見越したピットストップシミュレーションや、予選アタックシミュレーションも行い、大津選手は午前中のセッションを首位で終える。チームは午後も、オフシーズンにしかできないような大胆なセットアップメニューをスケジュール通り消化し、2 日間の総合順位 牧野選手 8 位、大津選手 2 位で 2021 年最後の公式テストを終えた。

5：牧野選手 総合 8 位 HONDA 勢 4 位

初日が雨、2 日目はドライとなったことで、今シーズン課題として残っていたヘビーウェット下のセットアップや、車体バランスについて、シーズン中にはできないような色々なことが試せたとし、非常に収穫のある良いテストになりました。

今シーズンは序盤を体調不良で欠場していたので、じっくりと車をテストする初めての機会でした。理解できたことが多くあり、故に新たな課題も見つかりましたので、22 シーズンに備えてしっかりと準備したいです。

6：大津選手 総合 2 位 HONDA 勢 2 位

雨の初日から、着実にメニューをこなし、多くの収穫がありました。

DANDELION RACING の車は全体的にスムーズで、チームによって車の感じが全く違うと感じました。それでも違和感なく、常に上位で走ることができたのは自信になりました。チーム力の高さと献身的なサポートのおかげで、総合 2 位で今シーズン最後のテストを終えることができ感謝の気持ちでいっぱいです。